別紙７

工事写真撮影のポイント

１　浄化槽整備士が実地に工事を監督していることを証する写真

全景と浄化槽設備士、浄化槽工事業者登録票、工事名の書かれている黒板を写し込む

２　浄化槽全体の写真

３　基礎工事の状況を示す写真

⑴　掘削完了（深さが分かるようスケールを立てる）

⑵　水が出たらカマ場にて水中ポンプを使用している所

⑶　基礎砕石転圧完了（栗石地業の実施、長さ、幅、厚みが分かるようにする）

⑷　基礎コンクリート（水準器、長さ、幅、厚みが分かるようにする）

４　据付工事の状況を示す写真

⑴　保安工事（矢板など地盤の崩壊を防止する必要がある場合）

⑵　浄化槽本体設置（浄化槽本体の記号が写るようにする。水準器で確認している所が分かるようにする）

⑶　埋め戻し工事（水張り、水締め、ホース、水準器、突き棒、ランマー等、埋め戻し土砂、プレートも明示する）

⑷　埋め戻し完了

５　かさ上げの状況を示す写真

⑴　かさ上げ工事（高さ３０センチ以内を明示する）

⑵　マンホール蓋の高さからバルブ等の操作が可能であることが分かるようにする

６　工事経過写真

⑴　導入管、放流管、導入マス、放流マス工事

⑵　ブロアー、上部スラブが設置されていることが分かるようにする

⑶　着手前、施工中、工事完了

７　既存単独浄化槽又は汲み取り便槽の撤去等が確認できる写真

〔注意事項〕

|  |
| --- |
| ・すべての写真には「浄化槽設備士本人」、「浄化槽工事業者登録票」、「工事名の看板」を入れ、それぞれが判読できるように写真を写してください。  ・工事実施に際しては、必ず交付申請記載の浄化槽設備士が立ち会ってください。 |